

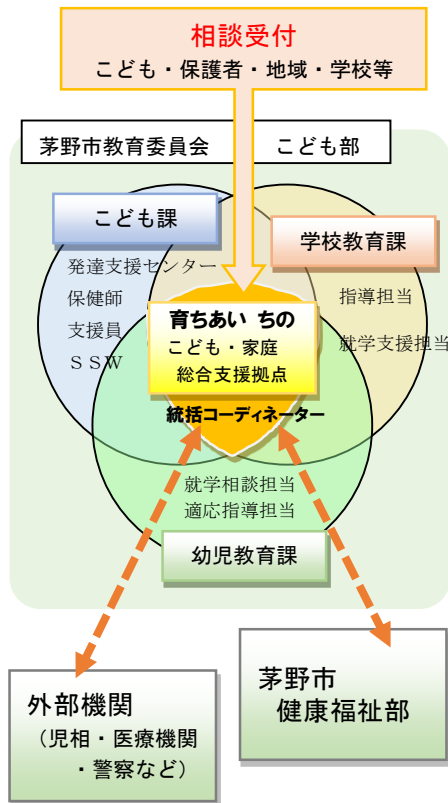
# わたしたちの 働きかた 2018

働き方改革通信  
平成30年10月22日

発行：長野県教育委員会  
(義務教育課)

## 福祉と教育の一体化 茅野市のチャレンジ

### 育ちあいちの



茅野市では、こどもと家庭・発達・教育等に関する相談・支援の窓口を一本化した総

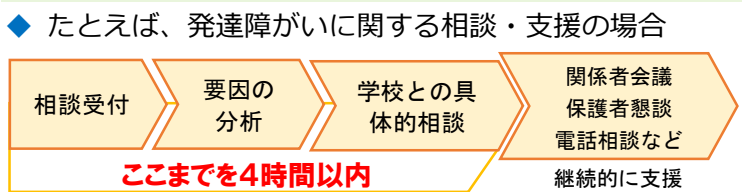
市役所の明るい窓口  
合支援拠点を設置。ここで受けた相談事案について、関連する課の職員で即座に受理会議、情報収集を同時に行いながら、必要な関係者、専門家、学校を交えた関係者会議を開催するしくみを整え、本年度から本格稼働しています。

この総合支援拠点の名は「育ちあいち」。  
左図のように、これまで別々に担当していた教育委員会内の各課・係を再編成。課を隔てていた壁も撤去するという徹底ぶり。さらに福祉関係等の首長部局とも連携し、一体化した体制ができたダイナミックな取組は、全国的にも新しい取組として注目されています。

統括コーディネーターを中心に相談等を集約し、関係者会議で支援方針を決め、役割分担を明確にしてチームによる支援がスタートします。そのため、学校だけで相談・対応するよりも迅速で組織的・専門的な支援が期待できます。また、学校種を超え、家庭まで踏み込んだ長期的・総合的な支援も可能となり、教育、福祉、さらに医療と連携した、妊娠期からの切れ目のない支援を実現しています。

#### 育ちあいちの 構成メンバー

こども・家庭相談係長（福祉職）  
統括コーディネーター（教育職）  
保健師、SSW、臨床心理士、保育士  
子ども家庭支援員、家庭児童相談員  
母子・父子自立支援員、女性相談員  
発達支援相談員、教育支援指導主事  
……など



実際に学校との接点に立つ統括コーディネーターのお話では、こうした事例の場合、今まではすべてを学校で行い、支援体制を整えるだけで1か月以上かかっていたそうです。しかも、この後、数か月に及ぶ継続的な支援も学校が取り組んできました。  
「育ちあいち」では、相談を受け付けた直後から、専門家によるアセスメントが始まり、学習支援や医療的支援、放課後等デイサービスなどの利用支援、保護者のケアや経済的支援、そして学校への支援が、同時多角的に行われています。また、苦情やクレームに対しても学校と一緒に対応しています。

働き方改革は、県、市町村、学校、個人のそれぞれの立場、レベルで、同時進行で進めていくことで、大きな効果を発揮していくと言われていています。意識改革としくみ改革とがうまくかみ合った取組によって、すべての教室で質の高い授業が実現されるよう、県民の期待が寄せられています。